

のびっ子

竜王東小学校
H30, 6, 25発行
文責 渡辺

じゃがいも大豊作!

学校校庭東にある竜王東小学校の農園にじゃがいもが咲き、その後葉っぱが青々となり、徐々に枯れていききました。じゃがいもの今が掘り時です。六月十五日(金)に白日(金)に白組が、六月十八日(月)に赤組が、それぞれ口を閉じて、じゃがいもを掘ることにしました。掘ると雨が降ってきたりして、なかなか計画通りにはいきませんでした。今年はいもがじゃがいもが大豊作でした。じゃがいも



このじゃがいもは昨日、取れたじゃがいもは二十三日の給食のカレーに使われ、皆おいしくいただきました。ごちそうさまでした。

で、取れたじゃがいもは二十三日の給食のカレーに使われ、皆おいしくいただきました。ごちそうさまでした。



五月から準備に取りかかり、楽しみにしていた「のびっこ祭り」が六月八日(金)に盛大に開催されました。竜王東小学校児童会の最も大きな行事であり、三大行事の一つでもあります。縦割り班で上級生が先頭に立ち、グループをまとめました。下級生もすっかり自分の役割を果たしていました。決して十分な取組時間ではなかったと思いますが、どのお店も、楽し



この行事への諸活動を通して、①学年の異なる子供たちのふれあいを通して親密感を増し、運動会の縦割り



種目につなぐ。②自分の役割をしっかりと果たし、皆で協力してひとつのことを成功させる喜びを経験する。③上級生は、下級生のことを考えてリーダーシップを発揮して行動する責任感を養う。④下級生は、与えられた仕事を全うすることで最後までやりぬく責任感を養う。等のねらいをつくり、その達成に努力することができました。まさしく「のびっこ」を目指す活動です。ご参観いただいた保護者の皆さん、ありがとうございました。

のびっこ祭り開催 御来校ありがとうございました

ませる工夫がこらされていて、充実したお店ばかりでした。また、「学校開放日」として保護者の皆さんだけでなく、地域の方々や竜王東保育園の年長さん達が訪れてくれました。そのため、大勢の方によって校舎内がとても賑やかになりました。

プール開設

夏の到来とともに、水泳の学習が始まります。それに先立ち、六月九日(金)に「プール開き」の儀式を行い、6年生代表児童とともに今シーズンの安全を祈りました。子供たちは、水泳の学習を大変楽しみにしています。が、ひとつ間違えると命に関わる事故にもつながりかねません。担任からも事前の指導をしっかりとしています。安全に過ごせることを願っています。

- ①体調が悪いときは無理して入らない。
- ②準備体操をしっかり行う。
- ③飛び込まない。
- ④悪ふざけをしない。
- ⑤プールサイドを走らない。等のプール使用上の諸注意を守るように、御家庭でも声かけ

をお願いたします。なお、水泳授業では、より児童の安全を確保するために本年度も担任十人体制で指導に当たります。安全で楽しく充実したプールとなりますよう、各ご家庭のご協力をよろしくお願いたします。

さて、これに伴って六年生の保護者を対象に「救急法講習会」を開きました。六年生の親子レクの後で疲れているところでしたが、多くの保護者の方々に参加していただきました。

講習では赤十字の方に講師としてきていただき、蘇生法・AEDの使用法など時間をかけ丁寧に教えていただきました。いざというときには、一人では対応せず一人でも多くの方に携わってもらい



とが大切だと教わりました。救急車が到着するまでの約八分間にどれほどの措置が施せるかが大切です。いざというときの心構えも大切です。なお、学校には、これまで正面玄関設置の一台のAEDしかありませんでした。プールの時には、そこから運ばなければなりません。いざというときの所在が明らかでなければ混乱するということから、あと一台レンタルすることとし、プール管理室に常に置いておくこととしました。御承知おきください。

学校評議員

学校が家庭、地域と連携協力しながら、三者一体となつての児童生徒の健やかな成長を担っていくために制度化されたものが「学校評議員」制度です。次の五名の方々に今年度、平成三十年度の「学校評議員」のお願いをいたしました。竜王東小学校の教育活動について、幅広く貴重なご意見を聞かせていただく予定です。第一回の学校評議員会を六月二十二日(金)に開催いたしました。

- 小澤 美文 様 (1区)
- 清水 勉 様 (2区)
- 三井 弘文 様 (3区)
- 畑野 光男 様 (4区)
- 石田 冬子 様 (名取区)

安全について

今こそ皆で考えよう

最近、地震が頻発しています。千葉県南部ではスロースライド現象により、多くの地震が発生しています。群馬県南部においても震度5弱の地震が起こりました。さらには、先週の頭には、大阪において震度6弱という大地震が起きました。死傷者も出ました。日本は地震列島といわれるものの、最近のこの地震の多さには不安も覚えます。

学校では、いざという時のために避難訓練などを年間に五回以上取り入れていきます。しかし、災害はいつ起こるか分かりません。何か機会があるたびに、子どもたちには、「自分の命は自分で守れる人になりましょう。」と話しています。学校の行き帰り、友達と公園で遊んでいるとき、家で一人で留守番をしているときなど自分で判断をしなければならぬ場面が多いからです。各御家庭でも場面場面ごとにご話しかかるか平日頃から話し合っておくといいかもれません。先日四年生が、防災新聞を作るためにインタビューに來ました。東日本大震災の時のことを聞いていきました。校庭の照明灯が風に揺れる木のように左右に揺れていたこと、授業中で廊下(当時山梨南中勤務・山梨南中は廊下が一〇〇メートル近くある)が生き物のようにうねっていたことなどを話しました。あの大震災について今の小学生は記憶にないのだと思うと、その時のことを話し継いでいかなければならないと思えました。